

青少年・ライラ委員会

委員長	瀧 成和 (富 田 林)
委員	中村 吉伸 (有 田)
委員	垣内 欣久 (有 田 南)
委員	橋本 竜也 (藤 井 寺)
委員	小林 義信 (橋 本 紀 ノ 川)
委員	松尾 孝人 (和 泉)
委員	阿久根紀男 (河 内 長 野 東)
委員	阪井 祥博 (堺 泉 ケ 丘)
委員	角谷 浩二 (泉 南)

2007-08 年度活動計画

(基本方針)

RI テーマである、Rotary Shares という言葉には、「分かち合いの心」として伝えられています。この言葉から物質的なものだけでなく、奉仕の精神を互いに持ち合うことや、共に活動しようというアクティブな気持ちも重要なことと受け留めております。特に青少年育成に関しましては、一緒に体を動かす事が肝要であると思っております。この地区のロータリーの仲間が若い人たちと共に何かをする。そのこと自体が未来を築く人たちに素晴らしい感銘や体験を導くのです。そして、思いやりの心や、地域を知り地域の将来を考える気持ちをはぐくむのです。本委員会は以前からこれを実践すべく努力して来ました。次年度もこのような姿勢を引き続き持って事業の展開を進めて行くつもりでおります。

(活動計画)

- 1、アンケートの実施 (例年のように各クラブの青少年関係委員会にアンケートを依頼する)
- 2、各クラブでの青少年育成のためのプログラム作成を要請する (継続でされているもの、新規のものなど)
- 3、他の青少年関連委員会 (インターアクト、ローターアクト委員会) と蜜に連絡を取り協力しあう
- 4、ライラセミナーを実施する
 - ・ 時期は、2008年4月末で2泊3日の予定
 - ・ キーマンはIM第7組から出て頂く
 - ・ 地域の歴史に親しむ内容を含める
 - ・ グループ討論を通じて自分達の考え方を纏める経験を得て頂く
 - ・ アウトドア活動や、ゲームを通じてグループ内の気持ちの統一感を得て頂く
 - ・ いろんな発表場所を持つ事で自分という者を他人に知ってもらふ体験をしてもらう
- 5、その他、例えば各クラブにおいて、新世代会議などの青少年育成プログラムをされる場合は協力する